

日 時：平成26年5月19日（月） 18時30分～20時00分

場 所：八幡崎地区農業研修センター

対象町会：八幡崎

参加人数：21名

内 容
<p>(市民からの要望・質問)</p> <p>○マイロード・マイタウン整備事業補助金について</p> <p>2年前の行政委員連絡会議での要望により3年間延長となったと記憶しているが、今後はどうなるか。</p>
<p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・マイロード・マイタウン整備事業は地域づくりのためにとってもいい事業だと思っており継続していきたいと思っている。・マイロード・マイタウン整備事業は今年も変わっていないのでご活用願いたい。
<p>(市民からの要望・質問)</p> <p>○防犯灯の整備について</p> <p>猿賀小学校の児童が部活動などで遅く帰る時、暗くて危険であると感じている。特に野合いが危険だと思う。当地区には西野曾江、日沼、新山へ向かう野合いがあり、子供たちの安全のためにも明るくしてほしい。特に日沼に向かう道路は川もあることと、街灯が歩道の反対側に1本おきにしかついておらず危険である。できれば全部に街灯を設置していただき、できればより明るいLEDの整備を早急をお願いしたい。行政による整備状況を見て、町会内でもLEDの整備を考えたいと思っている。</p>
<p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・街灯のLED化については行政委員連絡会議でも要望が出たことを受け、その後すぐに庁内で協議して、子供たちの安全安心を守ることが一番大切なことから、市内全部の街灯をLED化する決断をしました。・現在、6月議会の補正予算に調査や設計の予算（300万円近く）を要求するところである。できれば来年度1年間（箇所数によっては2年）で市内全部の街灯、防犯灯のLED化を行いたいと考えている。・市内全部で4000箇所、事業費で1億3000万円を超えるものであるが、市民の安全安心のために実施したい。LEDの方が長持ちするし明るい。また、電気料も半額くらいと聞いているので、町会としてもいいではないかと思う。・歩道の街灯については、現場を確認したところ、確かに歩道の反対側に街灯がついている。どのように整備していけばいいか検討が必要だと思う。・新山の方は青い街灯だが、町会で整備したものか？（交通安全協会の寄付であるとのこ

と) 市で整備するときは明るくて夜道を照らすことのできるものを整備したい。

(市民からの要望・質問)

○集会所の修繕について

今年の冬の低温で集会所の玄関先のタイルが凍ってしまい、剥げてしまった。こういう場合は市にお願いしても予算措置の関係もあり1年遅れてしまうことが多い。なんとか年内にできるように対応できないものか。

(市の回答)

・集会施設等の修繕については、町会の人口や世帯数に応じた負担割合をルールで決めており、それに基づいて修繕している。集会施設を管理している課(当該施設の場合は尾上総合支所市民生活課)があるので、申し出てほしい。補正予算で対応することもできるのでよろしく願います。

(市民からの要望・質問)

○歩道の修繕について

今年は雪が少ないが非常に低温であったこともあり、歩道が盛り上がりひびが入った箇所がある。修繕してもらえないものか。

(市の回答)

・土木課に伝えることとする。現場確認に来るかもしれないので、その際にご協力願います。

(市民からの要望・質問)

○政党の看板の処理について

市の管轄ではないかもしれないが、道路わきに立っているある政党の看板がだいぶ古くなり、風で飛んだりしている状態である。気がつくたびに元の場所に戻しているが、片づけてもらえないものか。

○町会の表示板について

道路に立っている町会の表示板が倒れてしまっている状態である。勝手にゴミに出すわけにもいかず、また、草刈りをする時など支障がある。

○大雨で流れてきたゴミの処理について

昨年大雨で所有する水田の棒掛けも流れてしまって、似たようなものがあちこちに落ちている。また、タイヤなども流れてきており処理に困っている。

○懇談会について

過去にもこういった懇談会に出席して意見を出してきたが、私が女性であるためか発言内容が広報に載らないので、それ以来懇談会には出席していない。市長が変わったので取り上げてもらえるかと思い今回は出席したのでよろしく願います。

(市の回答)

- ・決して女性であることで除外しているということはないので心配しないでほしい。
- ・政党の看板については、おそらく県の選挙管理委員会に届出をしており、届けた場所にしか設置できないはずである。県の選管に話をするか、その政党に話をすることになるだろう。町会を通すなどして政党に話してみてもどうか。
- ・町会の表示板については市で現場を確認に行き片づけます。
- ・水害の後始末については、崩れた所の工事などを進めているところである。また、農地についても農作業に遅れがでないよう復旧作業を行ってきたところである。ただ、流れてきたものについては状況によることになる。
- ・河川、道路などはその管理者が対応することとなるが、まずは現場を見て判断することになる。また、場合によっては市民生活部が対応することもあり、現場を確認し、状況に応じた対応をとることとしますのでよろしくお願いする。

(市民からの要望・質問)

○私道の除排雪について

私は八幡崎以外から転入してきた。通りから入ったところの分譲地に住んでおり、私の他にも5件ほど八幡崎以外からの転入者が住んでいる。

家の前の通りが私道になっており、所有者が県外在住の方で、以前にも市に私道部分の寄附を申し出たが、市では寄附を受けないとのことであった。私道なので除雪も入らず、みんな朝早くから道路の雪を自宅の敷地に寄せている。みんな転入者であり田畑もないので雪を捨てる場所もない。

最近、道路の所有者が再度寄附の依頼をしたところ、壊れている側溝の蓋を取り除いたら市で寄附を受けると言われたものの、所有者が高齢であることや費用がかかることから話がなくなってしまった。

除雪はあきらめるとしても、年に数回でも排雪してもらえないか。本当に困っている。近所の人たちとももめることもある。現在はダンプを借りてきて雪を捨てている。道路沿いの人たちのように、融雪溝でもあればいいのだが。

(市の回答)

- ・寄附を受ける際にはルールがある。受け取ってもその後管理していかなければならず、一定のルールをクリアしたものでなければ寄附は受けていない状況である。
- ・県道にある側溝は融雪溝ではない。
- ・融雪溝の設置には水源が必要であり、捨てた雪が最後まで流れていくようになっていなければならない。
- ・市としてどういう対応ができるのか、今までどおりにならざるを得ないのか、現場を見ることにしたい（土木課と尾上総合支所に対応）。

(市民からの要望・質問)

○猿賀小学校裏に捨てられるゴミの対応について

猿賀小学校の裏手で、杉の木が伸びている所があり、そのあたりに運送屋の車が駐車して弁当の空や空き缶などを捨てているようだ。個人が立て札を立てるわけにもいかず、対応をお願いしたい。

(市の回答)

現場を確認したい。場合によっては看板を設置することも考えたい。

(市民からの要望・質問)

○金婚式について

金婚式の対象者が市で把握できないというので、市から依頼されて私が町会内を巡回して対象者がいないか声をかけて回っている。老人クラブに入っている人であれば面識があるのでいいが、そうでない方からは怪しまれるなど、対応に苦慮している。やり方を工夫できないものか。以前にもお願いしたことがあるが、その後協議などしたのか。方法を検討し、スムーズに進むようにしてほしい。

(市の回答)

- ・対象者をピックアップする方法はないか担当課に確認したが、戸籍は画像データで保管しているため、婚姻日で検索することは難しいのが現状であるが、いい方法を検討したい。
- ・広報の縮刷版などがある可能性があるので、過去の広報を調べるなど、いい方法がないかももう少し協議します。

(市民からの要望・質問)

○ひらかドームへ暖房を設置することについて

子供の野球部の活動でひらかドームを活用している。ひらかドームへ暖房を設置することが長尾市長の公約にあったと思うが、それはいつ頃になるものか。

(市の回答)

- ・ひらかドームは冬期間非常に寒い。現在、教育委員会で調べてもらっているところである。大規模な暖房設備では経費がかさむことや、結露による被害が出るため、ジェットヒーターを置くことで、プレーしていない人たちが寒くないようにできるのではないかと考えている。
- ・市長からの指示は、例えば野球で攻撃側の時にベンチに選手を暖められないかという内容である。現在、例えばアイスホッケーのベンチなどを参考に検討を進めている。

(市民からの要望・質問)

○空き家対策について

全国的に空き家が非常に目立ってきたと言われている。当地区でも目立っており、ガラスが壊れたりしている状況である。市町村によっては空き家対策を施策に入れたりしているところもあるようだが、平川市ではどのように考えているのか。

(市の回答)

- ・空き家対策は非常に大きな問題だ。平川市でも空き家が多くなっているが、個人の資産でもありなかなか手をかけることができず苦慮しているのが実情だ。だが、このままにしてはおけない問題なので他の市町村では空き家条例を制定しているところなどもあり、参考にしながら対策を進めて参りたい。
- ・市でも条例制定に向けて検討しているところである。空き家対策としては、まずは持ち主を探して持ち主に管理を指導し、最終的には市が代執行する流れになるのかもしれない。他の自治体では解体のための補助金を支給しているところもあると聞いている。今後も検討を進めていく。
- ・新しくても空き家となっているものもある。解体するにしてもお金がかかることを考えると、例えば不動産と連携をとってリフォームし、入ってくれる人を探すなど何かいい方法はないものかと思う。空き家対策はこれからも検討を進めたい。

(市民からの要望・質問)

市で空き家の調査をしたと聞いたが、この地区の空き家の件数はどのくらいあるか。

(市の回答)

- ・この地区は16件であった。尾上地域全体では88件あった。2件はすでに取り壊し済なので現在は86件を把握している。

(市民からの要望・質問)

○町会への加入について

現在、班長をやっており町会を回っている。町会に入らず会費を払ってくれない人がいるが、その人も他の住民と同じようにゴミを出す。そのゴミ置き場は町会で管理している。今後このような人が増えると思われるが、どうすることもできないのか。また、このような人には広報等の市の情報が届いているのか。

(市の回答)

- ・市でも町会へ加入を促進する対策を進めている。ゴミの件は税金を払ってもらっている以上、持って行かないわけにもいかない。今後も加入促進に取り組んで参りたい。
- ・市では、町会からの申し出に基づいて町会に広報を配布している。善意で配っている町会もあるかもしれないが、基本的には配られていないと思う。詳細は把握していない。

(市民からの要望・質問)

この件について、当町会では1人だけ脱退した。以前市から未加入者にも届けてほしいと言われたことがあり、届けようとしたが、この方の場合には風除室に入っただけでも文句を言われ、市には「無理である」と断った経緯がある。八幡崎町会は加入率が高く、特に自主防災組織により理解が得られたこともあり、現在は1人を除く全員が加入している。

(市の回答)

- ・この懇談会をやった理由の1つに、地域で助け合っていく仕組みを作りたいという思いがある。
- ・町会に入らない人が増えていると聞くが、地域の中で助け合う「お互い様」の気持ちが大事なので、ぜひみなさんに町会に入ってもらいたいと思っている。

(市民からの要望・質問)

○尾上地域の国土調査について

尾上地域の測量が始まったが、もしも面積が違っていた場合、その対応はどうか。

○自主防災組織について

八幡崎では市内で3番目に立ち上げた。いろいろと進め方を模索しているが進まないのが現状である。市が備品はそろえてくれたが、その後どう運営していけばいいのかがわからない。進め方の助言をいただけないものか。

(市の回答)

- ・測量については昭和40年代の精度が悪く、図面と合わない部分を直しているところがある。合わないところが出てきた場合、それが宅地だと特に大変だと思う。
- ・今年から作業に入っているが、現在の作業は測量ではなく、地籍の再調査のための準備作業である。現在の杭が登記所の図面と合っているかを確認している。
- ・実際に調査に入ってわかったことだが、杭の数が予想以上に少なく、とても調査が困難であるが、対策を練りながら進めているところである。
- ・これにより面積が増える人、減る人が出てくることになるが、みなさまのご理解、同意があつての事業である。
- ・いくら当時の精度が悪かったとはいえ、このままでは道路事業等もできないなど、困ることも出てくると思うのでご理解をお願いしたい。
- ・自主防災組織については、八幡崎地区はいち早く立ち上げていただきありがとうございました。
- ・当初組織率が低かったが、東日本大震災を境に高まってきた。当市では現在80%だが、今年で100%になる予定である。
- ・組織を作って終わりではなく、研修会や、情報交換などをするための協議会などを組織していきたい。

- ・自主防災組織については、まずは市内全部に組織し、その後運営方法などを話し合いながら考えていきたい。

(市民からの要望・質問)

○伝統芸能団体に対する助成について

平川市内には芸能保存会が4つある。どの団体も金銭面で苦勞している。獅子踊りだけでも7団体ある。獅子頭などを直せないこともあり、補助をお願いしたい。また、子供たちへの継承にも力を入れている。子供用の獅子頭に対する補助もお願いできないものか。

(市の回答)

- ・獅子踊り保存会には運営費を補助している。獅子頭の修理に対する補助はないが、コミュニティ助成事業などを活用していただきたい。こういった活動に力を入れているところは優先されるのではないか。子供用の獅子頭も当然対象となるはずである。
- ・獅子踊り保存会は尾上ではここだけである。平賀地域では6つほどある。すべての団体がそろって活動できることも少なくなってきたと聞いている。
- ・どこでも子供用の獅子頭は、以前は村の中で作る人がいて継承されてきたものであり、市で助成できればいいのだが、先ほど紹介した事業を活用するなどしていただきたい。